

〈ニュース抄録〉食料を中心に高騰／1月の消費者物価指数

各家庭で消費されるモノやサービスの価格動向を示す、1月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は前年同月比3・2％上昇となり、前月の上昇幅を0・2ポイント上回った。上昇幅が前月を上回るのは3カ月連続。コスト増や天候不順により、食品を中心に値上げが続く。総務省が2月21日発表した。

主食であるコメ類の価格が依然高止まりしている。前年同月比70・9％の上昇だ。生鮮野菜は同36・0％の上昇。特に、不作が指摘されるキャベツは192・5％上昇で約3倍、白菜は109・9％で2倍にも上る。ブロッコリーは83・4％、レタスは68・3％、大根も59・2％の上昇だ。生鮮果物も22・7％上昇で、みかんは37・0％。肉類の5・5％上昇が低く見えてしまうほどだ。電気代は18・0％、ガス代も6・8％上昇した。

生活必需品など「基礎的支出項目」は前年同月比6・3％の上昇だった。

「海員だより」